

■ 第24回 多摩川流域セミナー

多摩川に虹を架けよう 私達の夢

主催：多摩川流域懇談会

1999年3月の開館以来、約15万人以上(2006年3月末現在)の人達が訪れた『せせらぎ館』の2階会議室がリニューアルオープンします。今回のセミナーでは、多摩川の市民活動の拠点としても活躍している“新”せせらぎ館のお披露目を行うとともに、現在、多摩川の様々な分野で活動する方々からの活動報告を行います。

みなさん、リニューアルしたせせらぎ館で色々な分野の活動報告を聞いて、多摩川に七色の虹を架けませんか？

● 日時

・・・ 平成18年12月2日(土) 13:00～17:00

第24回多摩川流域セミナー
多摩川に虹を架けよう 私達の夢

1999年3月の開館以来、約15万人以上(2006年3月末現在)の人達が訪れた『せせらぎ館』の2階会議室がリニューアルオープンします。今回のセミナーでは、多摩川の市民活動の拠点としても活躍している“新”せせらぎ館のお披露目を行うとともに、現在、多摩川の様々な分野で活動する方々からの活動報告を行います。

日時：平成18年12月2日(土) 13:00～17:00
場所：せせらぎ館 2階会議室 (多摩川流域懇談会主催)

●13:00 開会挨拶
●13:30 開会挨拶 長島 保(多摩川流域ネットワーク代表)
●13:35 話題提供
●14:45 ディスカッション(Part1)
●15:15 話題提供

● プログラム

◇ 13:00 ついに完成！新しくなったせせらぎ館(2階会議室)の開館

オープニング：オカリナ ソルジェンテ(澄んだ湧き水)

詩朗読等 : 田中喜美子館長

● 13:30 開会挨拶

長島 保(多摩川流域ネットワーク代表)

● 13:35 話題提供

・「源流からの情報発信」

青柳 諭(小菅村源流振興課長)

・「世田谷水辺の楽校の開校から」

上原 幸子(世田谷水辺の楽校協議会)

・「野川・湧き水の水路づくり」

倉持 武彦(みんなの野川をみんなで考える会)

● 14:45 ディスカッション(Part1)

● 15:15 話題提供

・「丸子の渡しを復活しよう」

安住 三郎(川崎河川漁業協同組合丸子地区長)

・「地域のSustainabilityと大学生の参加と実践」

岩淵 康樹 他(法政大学)

・「たまがわ人が創造する多摩川流域市民学会」

長谷川 博之(多摩川流域市民学会代表)

● 16:25 ディスカッション(Part2)

● 16:55 閉会挨拶

森 吉尚(京浜河川事務所長)

● 問い合わせ先

・・・ 多摩川流域懇談会事務局 NPO法人多摩川エコミュージアム

TEL.FAX.044-900-8386  <http://www.seseragikan.com>  office@seseragikan.com

■ 第24回 多摩川流域セミナー 開催報告

多摩川に虹を架けよう 私達の夢

主催：多摩川流域懇談会

平成18年12月2日(土)「第24回多摩川流域セミナー」を行いました。

今回は、「多摩川に虹を架けよう 私達の夢」というテーマのもと、多摩川の様々な分野で活動されている市民の方々の活動報告を行いました。

当日は、リニューアルオープンした「ニヶ領せせらぎ館」2階会議室が満室になる、100名を越えるみなさんにお集まりいただきました。

*

[せせらぎ館改装こけら落とし式典]

多摩川源流のヒノキを腰板に使った、新しい会議室のお披露目をしました。司会進行は京浜河川事務所の小栗(河川環境課・地域連携係長)です。

ヒノキのすばらしい香りの中、オカリナ演奏、次いで田中館長による詩の朗読があり、華やかなお披露目となりました。



そして、源流を代表して小菅小学校の生徒さんより、銘板の贈呈がありました。

次に、せせらぎ館の田中館長から、多摩川エコミュージアムが手づくり郷土賞を受賞したことの報告と、せせらぎ館のボランティアスタッフの紹介がありました。



[話題提供Part1]

長島保さん(TBネット)からの開会挨拶あと、最初の話題提供は、小菅村源流振興課長・青柳諭さんによる『源流からの情報発信』です。「多摩川源流大学」設置による地域再生プロジェクトについてと、「多摩川源流百年の森づくり」についての報告がありました。多摩川源流大学は、文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムで、東京農業大学との協働プロジェクトです。源流体験を通して「源流学」を学ぶ取組み等が期待されています。



次いで、世田谷水辺の楽校協議会・上原幸子さんからは『世田谷水辺の楽校の開校から』です。「せたがや水辺の楽校」では、子どもたちの日常に密接した「水辺の楽校・初級編」を目指し、体験型イベントやいつもの遊びを様々な組み合わせ合わせた活動を行っています。子どもたちの笑顔あふれる写真の数々を紹介していただきました。



前半最後の発表は、みんなの野川をみんなで考える会議・倉持武彦さんから『野川・湧き水の水路づくり』でした。野川は「大事な湧水が接続していない」「生き物の生息環境としてもっと改善できる」といった「もったいない」要素を持っています。これらの改善を目的として市民参加による河川改修を行った様子を発表していただきました。



[ディスカッションPart1]

休憩のあとは、前半の発表についてのディスカッションを行いました。コーディネーターは、京浜河川事務所の藤田(調査課長)とTBネットの中村文明さんです。

「多摩川流域セミナーを源流大学で行ってほしい」「多摩川で泳ぐことは出来るのか?」「野川でのコンクリートに頼らない改修は市民からの要望だったのか?」など、様々なご意見や質問に対して、熱心な議論が繰り広げられました。



[話題提供Part2]

後半の発表は川崎河川漁業協同組合中原地区長・安住三郎さんによる『丸子の渡しを復活しよう』です。多摩川にはかつて22の渡しがありました。できればこれらを復活させたいという強い思いが、地元のボート屋さんとの協力で丸子の渡しを復活させる運びになったそうです。また、多摩川には近年多くのアユが帰ってきていますが、反面、餌が不足して大きく育たない等、現状のお話もありました。



次に法政大学の学生さん(岩淵康樹さん他4名の方)による『地域のsustainability(持続性)と大学生の参加と実践』の発表です。大学生として、多摩川のイベントにボランティア参加をした様子が、水カンリンバの音を背景に発表されました。



そして最後は、多摩川流域市民学会代表・長谷川博之さんによる『たまたわ人が創る多摩川流域市民学会』です。多摩川流域市民学会は2007年1月28日(日)に福生市民会館で開催されます。市民によるアカデミックな活動の今後が注目されます。



[ディスカッションPart2]

後半のディスカッションでも「大量のアユの遡上に感動した」「源流の木で渡し舟をつくれませんか?」「多摩川流域市民学会でも学生との連携ができればよい」など、他にもご紹介しきれない程たくさんのご意見をいただきました。



今回は2006年最後の流域セミナーです。みなさんの投票で「多摩川10大ニュース2006」を決定しました。

多摩川10大ニュース2006

1位・・・127万尾のアユが遡上(過去2番目)

2位・・・ニヶ領せせらぎ館がリニューアルオープン！

・・・多摩川源流大学がいよいよ始動！

4位・・・手づくり郷土賞で「多摩川エコミュージアムプランの推進」(川崎市)が地域活動部門で受賞！
「黒川清流公園」(日野市)が大賞部門で受賞！

5位・・・多摩川源流小菅村にて第7回全国源流シンポジウムを開催

6位・・・「かわさき多摩川博2006」を市民・行政が協働開催

7位・・・水辺の楽校が新たに4校増え、流域で15校に

8位・・・河口の殿町干潟でアサクサノリの生息を確認

9位・・・法政大学や学芸大学などが、多摩川研究プロジェクトを開始

・・・多摩川の豊かな自然が危ない。アレチウリ大繁殖

その他エントリーされたニュース

● 水遊びシーズンの水難事故多発。

● 西六郷の水制工、史跡に認定！

● 多摩川流域委員会 水流実態解明分科会がスタート。

● 源流域でニホンジカによる食害が深刻化。東京都特定鳥獣保護管理計画を策定。(東京都)

● 野川、浅川で河川整備計画が策定。

● 羽田地区不法係留船に対する簡易代執行を実施！(国交省)

● 羽田空港拡張計画に伴い神奈川口の問題が話題に。

● 大丸用水堰で左岸川にも新たに魚道を整備。

● JR八高線橋梁とJR中央線橋梁下の護床工に魚道を整備。小河内ダムまでの魚の遡上が可能に。

● 大師橋が完成！東京都と川崎市に新しい架け橋(東京都・川崎市)

● 河口干潟でコシジロウズラシギを発見。
